



# 地球大学アドバンス 第25回 [2009年度:第9回]

## 地球の未来を可視化する～最新・地球温暖化予測

2009.12.8 tue

COP15直前シリーズ・第2弾として、今回は地球シミュレーターを使った地球温暖化の予測やその影響評価の第一人者である江守正多氏をお迎えし、気候変動の未来予測について最前線のお話を伺います。

ここ数年間の一時的な寒冷化傾向をもとにIPCCの温暖化予測に異議を唱えたり、太陽活動の影響を重視して「CO2原因説」を批判したりと、地球温暖化の科学的予測を巡ってはいまだに議論がありますが、これらに対しても氏は丁寧に反証を提示しつつ、シミュレーション科学という人類の新たな知の可能性を広げておられます。

また「リスク評価」という面でも、想定しうる近未来の気候変動リスクを内部化した都市計画や国家運営ビジョン、「環境」コストを内部化した「経済」のリデザインが急務です。それは企業の経営戦略から環境税など税制のあり方、ガソリンや電力の価格設定まで、私たちの社会のベースを大きく変えていくはずで。

今回はシミュレーション科学の現在(そこから見える地球の未来)、そして気候変動リスクの「内部化」という2つの側面からお話を伺います。

### [topics]

- シミュレーション科学の現在と「地球温暖化・最新予測」
- 「地球温暖化」批判にどう答えるか?～寒冷化?太陽活動?水蒸気・雲? etc.
- 気候変動の「リスク評価」について～日本と世界の認識、政策や企業活動への影響
- Mitigation緩和策とAdaptation適応策～内外の動向、環境コストリテラシー
- 地球の未来へのまなざし～21世紀初頭に生きる世代としての認識

### ゲスト:江守正多 (えもり せいた)

1970年、神奈川県に生まれる。1997年に東京大学大学院総合文化研究科博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に入所。「地球シミュレータ」の現場で研究を行うために2001年に地球フロンティア研究システムへ出向し、2004年に復職した後、2006年より現職に就く。東京大学気候システム研究センター客員准教授を兼務。著書に「地球温暖化の予測は「正しい」か? -不確かな未来に科学が挑む」、共著書に「気候大異変 地球シミュレータの警告」等がある。IPCCにも貢献した日本の温暖化予測研究チームで活躍する、若きリーダー。

### モデレーター: 竹村真一

京都造形芸術大学教授、Earth Literacy Program代表。東京大学大学院文化人類学博士課程修了。地球時代の人間学を考究しつつ、ITを活用した独自の地球環境問題への取り組みを進める。Sensorium(97年アルス・エレクトロニカ・グランプリ受賞)、デジタル地球儀「触れる地球」(05年グッドデザイン賞・金賞)や「100万人のキャンドルナイト」「aqua scape」など、さまざまなプロジェクトを推進。環境セミナー「地球大学」主宰。07年「water」展ではコンセプト・スーパーバイザーとして企画制作に携わる。08年7月の北海道・洞爺湖サミットでは、国際メディアセンター(IMC)内の環境ショーケースにおける「地球茶室」の総合企画・プロデュースを担当。新著「地球の目線」(PHP新書)など著書多数。2009年4月26日よりラジオ「GLOBAL SENSOR」がJ-WAVE 81.3にて(偶数月の第4日曜25時～)放送開始。 竹村真一プロジェクトサイト: <http://www.elp.or.jp/>

### 開催概要

日時:2009年12月8日(火) 18:30~21:00

ゲスト:江守正多氏(国立環境研究所 地球環境研究センター 温暖化リスク評価研究室長)

企画・司会:竹村 真一 氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場:新丸ビル10階「エコツェリア」

地図:<http://ecozeria.jp/access.html>

定員:50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法:事前登録が必要です 事前登録URL <http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費:エコツェリア会員企業に所属の方:無料

\*名刺にて照会いたします。名刺(社員証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属の方:有料2,000円

\*新型インフルエンザの発生状況により、急遽イベントを中止することがございます。状況に応じて、参加申し込みの方には、お知らせいたします。

プログラム 18:00 受付開始/18:30 開演/21:00 閉会